

2023年度 第3四半期決算説明会

2024年2月29日

【証券コード 4401】



2023年度 決算説明

第3四半期

2023年4月1日～2023年12月31日

代表取締役社長兼社長執行役員 城詰 秀尊

- 1. 2023年度 第3四半期連結業績 … P 3
- 2. 2023年度 連結業績予想 … P13
- 3. ご参考 … P21
 - ・ 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況
 - ・ 海外売上高



1. 2023年度 第3 四半期連結業績

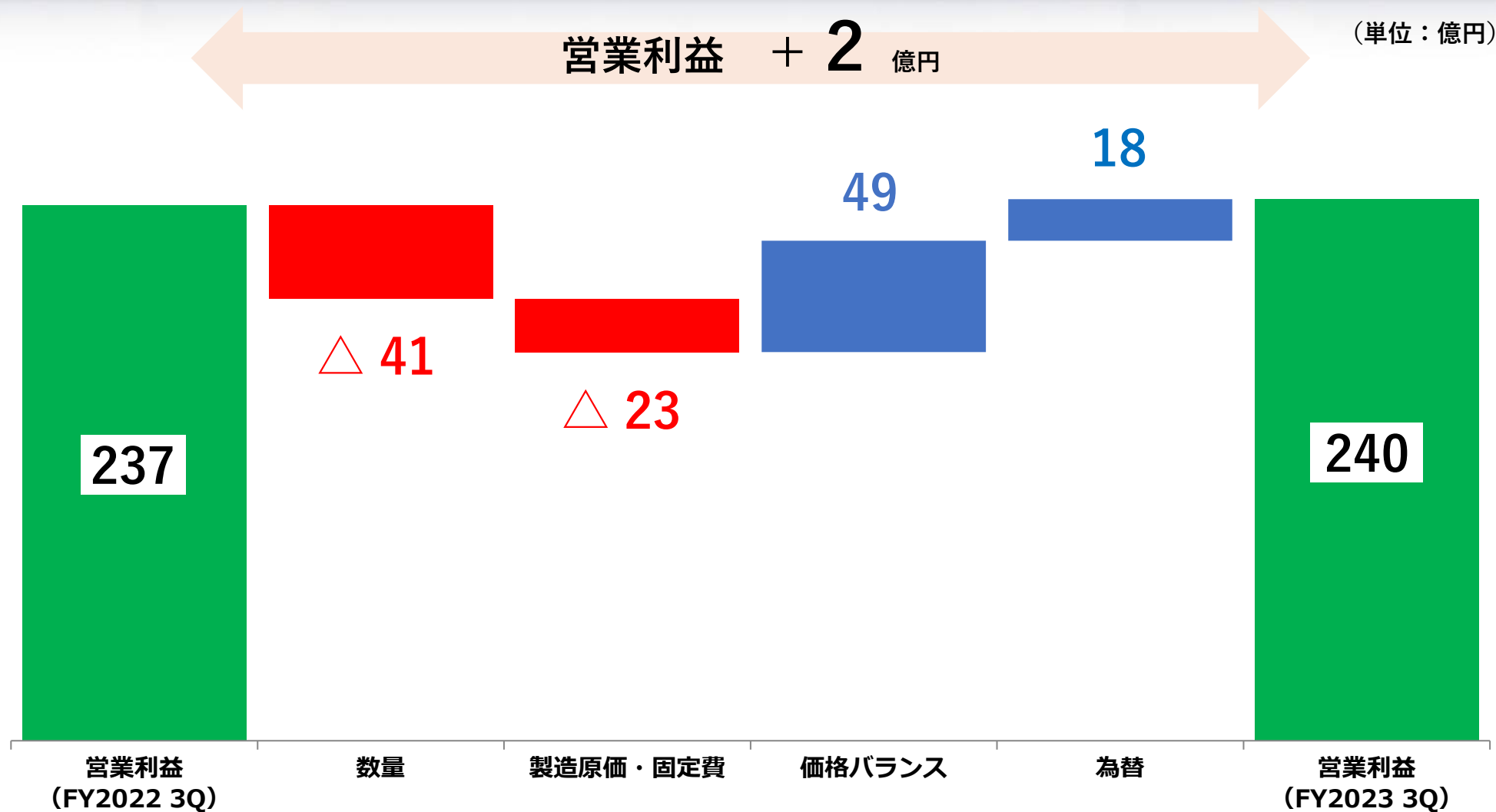
2023年度 第3四半期連結業績の概要

2023年度 第3四半期連結業績

(単位：億円)

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減	増減率 (%)
売上高	2,961	2,864	△ 96	△ 3.3
営業利益	237	240	2	1.2
経常利益	243	245	2	1.0
四半期利益	146	164	17	12.1
1株利益	142.8円	161.0円	18.2円	

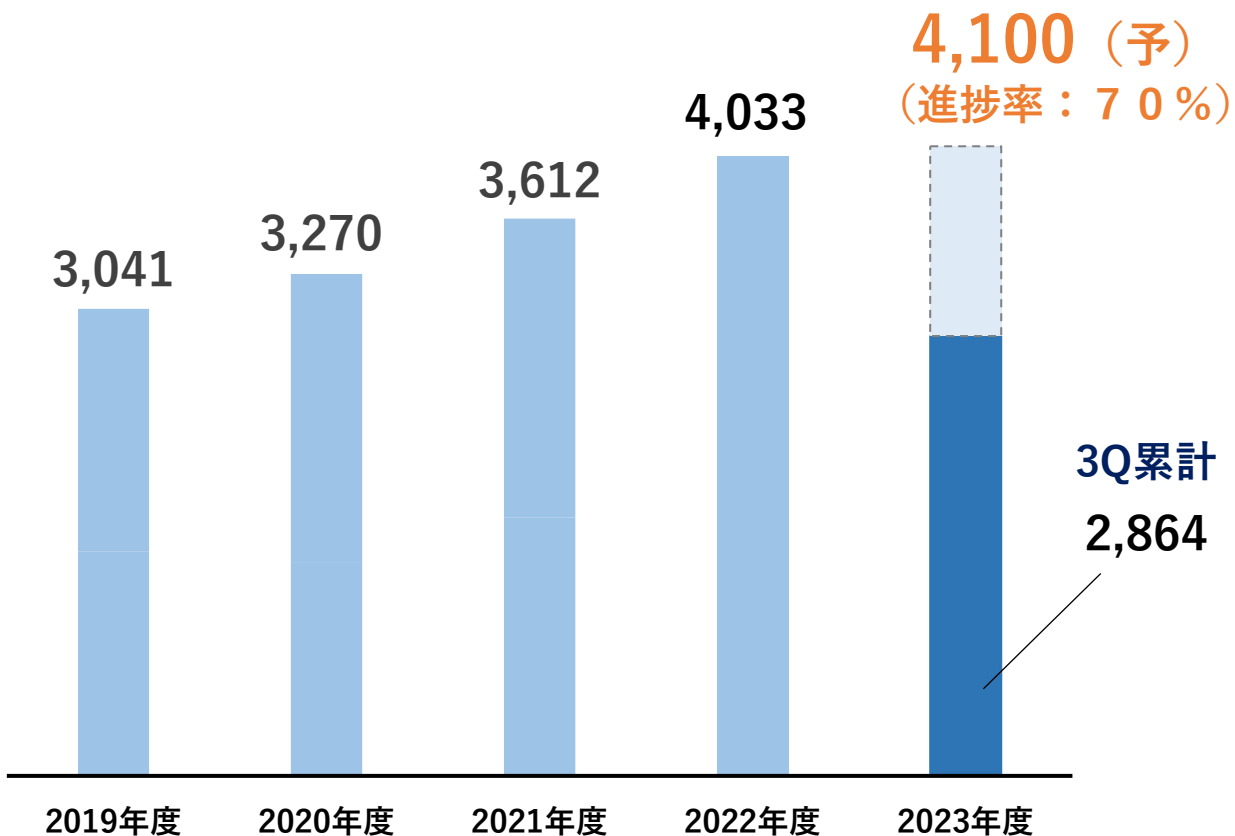
注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



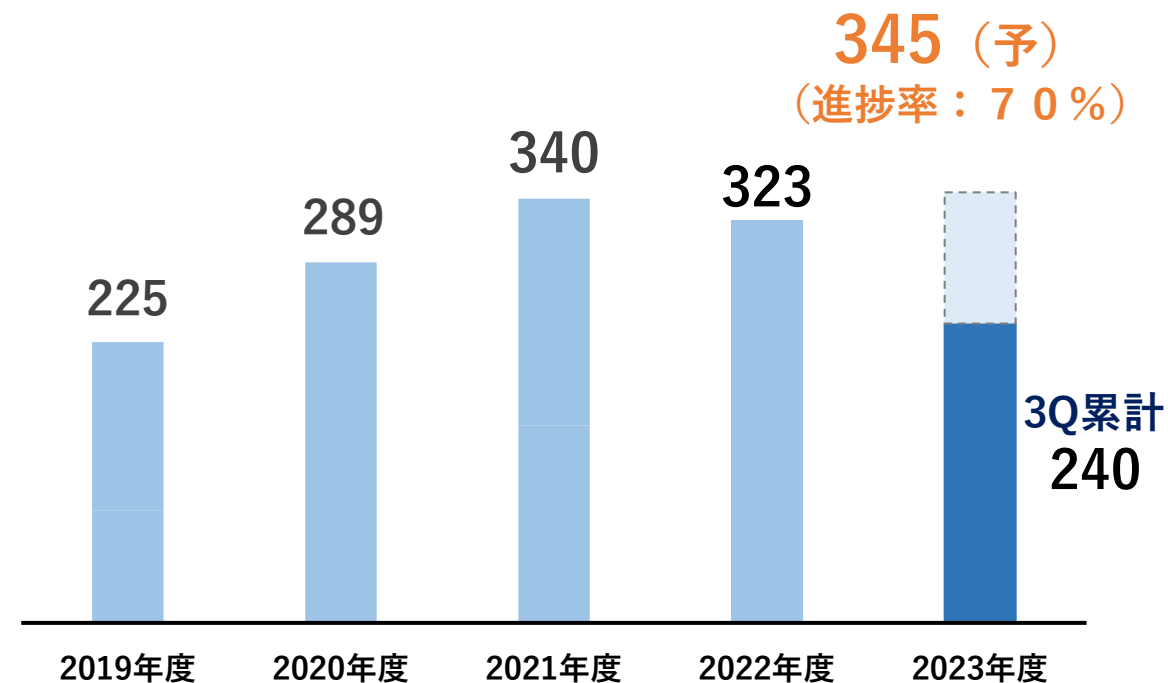
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

(単位：億円)

売上高



営業利益



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2023年度 第3四半期連結業績（セグメント別）

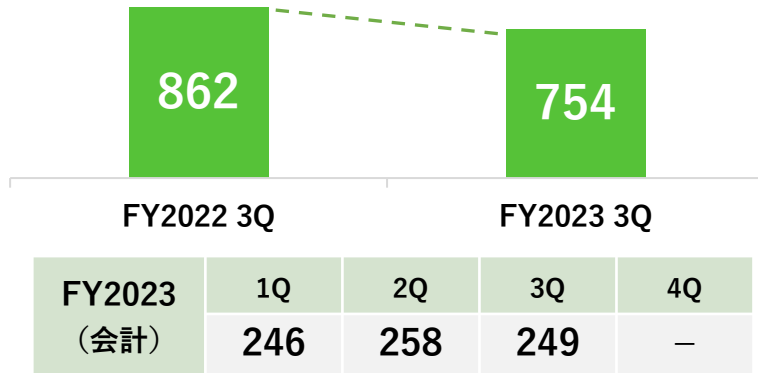
2023年度 第3四半期連結業績

(単位：億円)	2022年度 3Q	2023年度 3Q	増減	増減率 (%)
売上高	2,961	2,864	△ 96	△ 3.3
化学品	1,623	1,534	△ 89	△ 5.5
樹脂添加剤	862	754	△ 108	△ 12.5
情報・電子化学品	269	289	19	7.4
機能化学品	491	490	△ 1	△ 0.2
食品	623	637	13	2.2
ライフサイエンス	660	632	△ 27	△ 4.1
その他	54	60	5	10.6
営業利益	237	240	2	1.2
化学品	208	180	△ 27	△ 13.1
樹脂添加剤	76	60	△ 15	△ 20.7
情報・電子化学品	81	73	△ 7	△ 9.7
機能化学品	50	47	△ 3	△ 7.1
食品	▲ 19	28	48	—
ライフサイエンス	44	18	△ 25	△ 58.3
その他	4	12	7	159.3

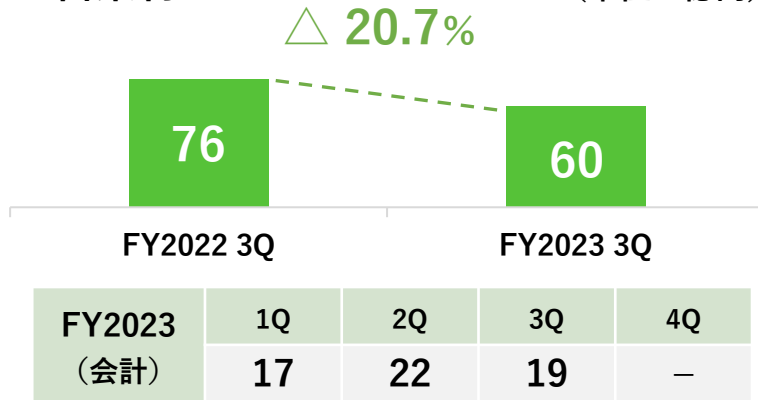
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（樹脂添加剤）

◆ 売上高 （単位：億円）



◆ 営業利益 （単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ ワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤は、中東・欧州での需要低迷により販売苦戦
- ・ 自動車生産の回復が続き、自動車部材に使用される核剤等の販売堅調

◆ プラスチック製品全般

苦戦 ワンパック顆粒添加剤、酸化防止剤

◆ 家電（筐体）

低調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

◆ 建材・インフラ

低調 塩ビ用安定剤

◆ 食品包装

低調 透明化剤

◆ 自動車

堅調 核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量
△ 18億円

固定費他
△ 4億円

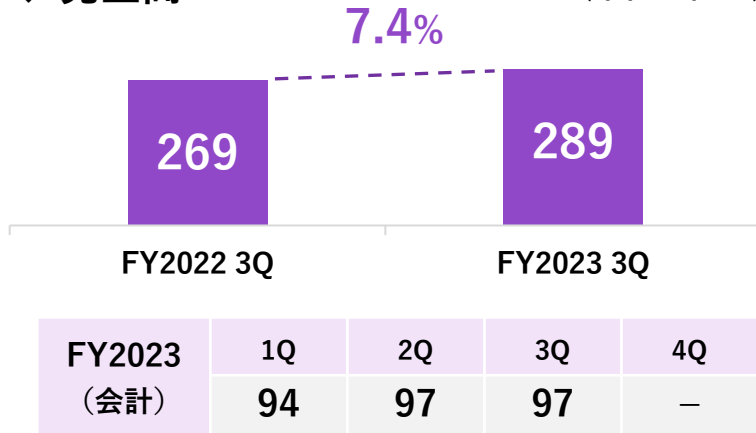
為替
4億円

価格バランス
3億円

化学品事業（情報・電子化学品）

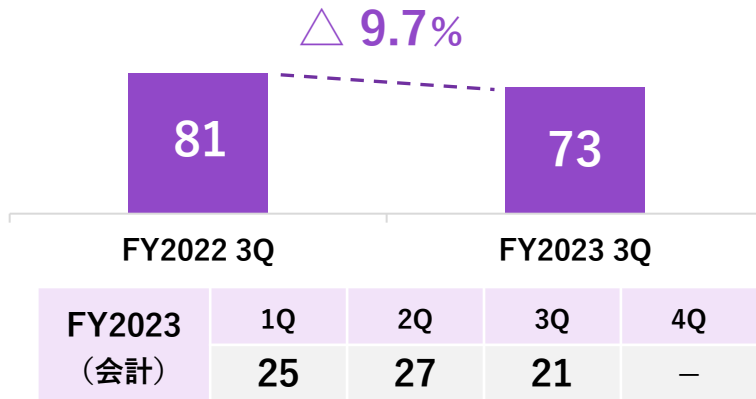
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 高誘電材料や光酸発生剤等の先端半導体向け材料は前年同期比で販売好調
- ・ ディスプレイ関連材料は生産調整の影響を受けたが、需要の持ち直しが継続

◆ 半導体

好 調

先端DRAM向け 高誘電材料

先端リソグラフィ用途 光酸発生剤（ArF、EUV）

◆ ディスプレイ等

好 調

カラーフィルター向け 光重合開始剤、エッチング薬液

堅 調

ブラックマトリクス樹脂

低 調

光学フィルム向け 光硬化樹脂

プリント基板向け エッチング薬液（電子部品用）

営業利益の主な要因（対前年同期）

製造原価・固定費

△ 8億円

数 量

△ 1億円

価格バランス

△ 0億円

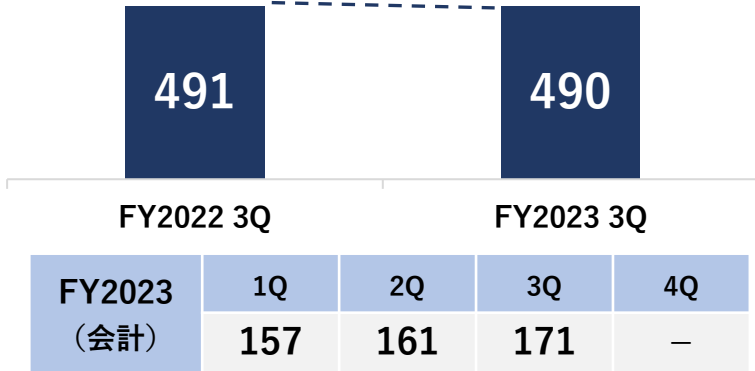
為 替

3億円

化学品事業 (機能化学品)

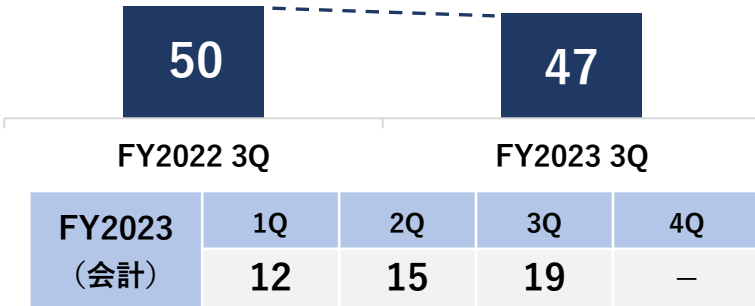
◆ 売上高 (単位：億円)

△ 0.2%



◆ 営業利益 (単位：億円)

△ 7.1%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・一般工業用のプロピレングリコール類、過酸化製品は市況低迷が続き販売低調
- ・自動車の省燃費性能に貢献するエンジンオイル用潤滑油添加剤の販売好調

◆ 一般工業用

低調

プロピレングリコール類、過酸化製品

◆ 化粧品

低調

界面活性剤

◆ 家電、スマホ・PC

低調

水系樹脂、エポキシ樹脂

◆ 自動車

好調

エンジンオイル用潤滑油添加剤

堅調

構造用接着剤向け エポキシ樹脂
車載用電子部品向け エポキシ樹脂接着剤

◆ 建築塗料

好調

反応性乳化剤

営業利益の主な要因 (対前年同期)

数量

△ 9億円

固定費他

△ 8億円

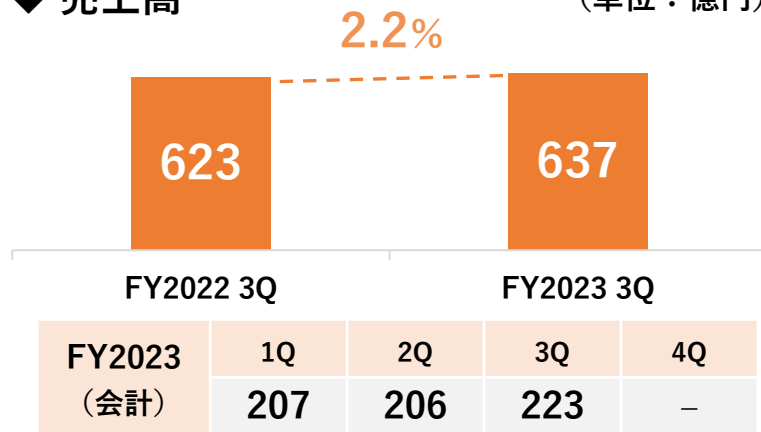
価格バランス

8億円

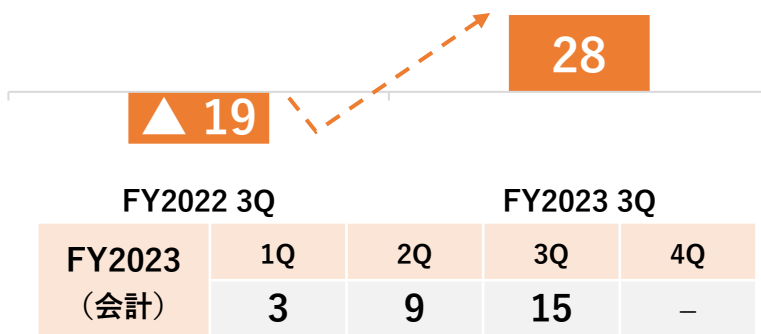
為替

5億円

◆ 売上高 (単位：億円)



◆ 営業利益 (損失) (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・ 観光需要の回復を背景に、土産菓子向けのマーガリン類の販売好調
- ・ 東南アジアで「マーベラス」等の高付加価値品の販売好調、中国も販売堅調
- ・ 国内外で価格改定が進捗

◆ 土産菓子

好調 マーガリン、フィリング

◆ 製パン、製菓

堅調 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

低調 汎用油脂 (マーガリン、ショートニング)

◆ プラントベースフード

伸長 「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因 (対前年同期)

価格バランス
37億円

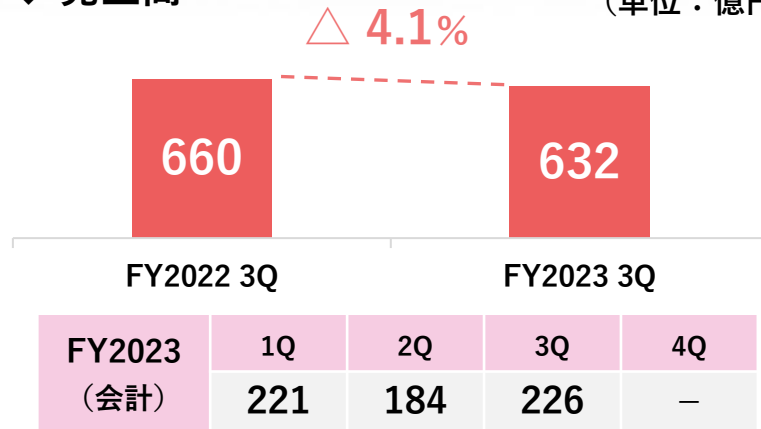
数量
6億円

製造原価他
4億円

ライフサイエンス事業（日本農薬）

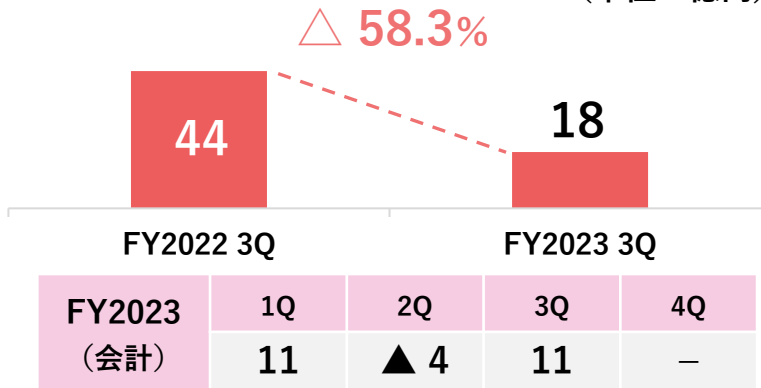
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ ブラジルでの競争激化に伴うジェネリック農薬の価格下落影響で販売苦戦
- ・ 国内の農薬販売は、天候不順や過年度の流通在庫の影響から低調

◆ 農薬

苦 戦

ブラジル（ジェネリック品中心に農薬全般）

低 調

日本（農薬全般）

北米（殺ダニ剤などの殺虫剤）

堅 調

インド（棉・野菜分野で販売する園芸用殺虫剤など）

◆ 医薬品

低調

外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量

△ 26億円

固定費他

△ 6億円

為 替

5億円

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

2. 2023年度 連結業績予想

2023年度 連結業績予想

2023年11月公表から変更なし

(単位：億円)	2023年度			2022年度 実績	増減	増減率 (%)
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	1,876	2,223	4,100	4,033	66	1.7
営業利益	147	197	345	323	21	6.6
経常利益	155	189	345	325	19	5.9
当期利益	105	104	210	167	42	25.2
1株利益	103.2円	101.6円	204.8円	163.3円	41.5円	

		2023年度下期	2022年度実績
為替	円/\$	(前提) 138.00	135.45
	円/€	(前提) 149.00	140.99
ナフサ	円/KL	(前提) 64,000	76,625

		2023年度	2022年度実績
配当	中間	40円	35円
	期末	(予定) 40円	35円
	年間	(予定) 80円	70円

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

2023年度 連結業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)	上期実績 (a)	下期予想		通期予想 (a) + (b)	前年度実績 (c)	増減 (a) + (b) - (c)	増減率(%)	前回予想 (23/11月)	
		3Q会計	(b)					下期予想	通期予想
売上高	1,876	988	2,223	4,100	4,033	66	1.7	2,223	4,100
化学品	1,015	518	1,104	2,120	2,117	2	0.1	1,134	2,150
樹脂添加剤	504	249	515	1,020	1,113	△ 93	△ 8.4	535	1,040
情報・電子化学品	192	97	207	400	363	36	10.0	217	410
機能化学品	318	171	381	700	640	59	9.3	381	700
食品	413	223	446	860	825	34	4.2	416	830
ライフサイエンス	406	226	633	1,040	1,020	19	1.9	633	1,040
その他	40	19	39	80	70	9	14.0	39	80
営業利益	147	92	197	345	323	21	6.6	197	345
化学品	120	60	115	236	262	△ 26	△ 10.1	131	252
樹脂添加剤	40	19	39	80	92	△ 12	△ 13.2	39	80
情報・電子化学品	52	21	42	95	110	△ 15	△ 14.4	58	111
機能化学品	27	19	33	61	59	1	2.6	33	61
食品	13	15	21	35	▲ 24	59	-	11	24
ライフサイエンス	6	11	54	61	77	△ 16	△ 21.7	54	61
その他	7	4	5	13	7	5	80.6	0	8

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

複合的な要因

コスト削減	品種統合	価格改定
生産効率化	海外の回復	減損損失の計上 (鹿島・明石工場)

✓ Point

機能的な製品の追求で実現した
“黒字転換”

ADEKA = フードテック企業

油脂のチカラで
食品業界の課題解決

おいしさ 安心・安全 健康
食品ロス削減 作業性向上 etc.

+

『デリプランツ』等で、
よりB to Cに近い分野へ展開

エンドユーザーの声・ニーズに対応
(商品設計・メニュー開発)



▶ 機能的な製品をより幅広い領域に展開可能に

ヒット商品

機能性練込油脂「マーベラスCNC」

少量でパンのおいしさが持続、消費期限延長に貢献
～ お客様の作業効率、コスト効率向上に寄与～

✓ Point : 高濃度化

配合量が、
約 1/2 でもマーベラスと同様の効果

当日
(出来立て)

3日目

5日目

✓ マーベラス

高濃度化

✓ マーベラスCNC



出来立ての
おいしさが持続

技術ポイント

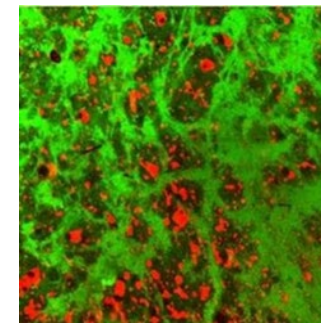
油脂がパン生地の中で分散しやすく、
少量でも機能成分を隅々までデリバリー

パン生地

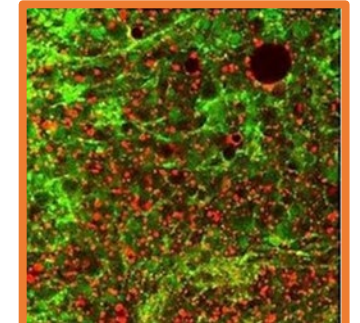


■ ミキシング後の生地
(レーザー顕微鏡)

従来油脂



「マーベラスCNC」



赤：油脂 緑：グルテン

情報・電子化学品 | 先端半導体向け材料の新プラントが稼働

半導体市場

短期

減産の影響が残るが、
先端品の生産は引き続き堅調

中長期

半導体材料の
需要は大きく拡大

ADEKAグループ

先端半導体向け材料
積極的な設備投資を実行

新プラントが続々と完成・稼働
(段階的に生産拡大し本格的な量産へ)

2023年度 (2024年2月現在)

フォト レジスト		EUV露光プロセス対応 光酸発生剤	稼働 2023年8月
メモリ		先端DRAM向け 高誘電材料 (ラインナップ拡充)	完工 近々 営業運転開始予定
ロジック		先端ロジックの配線工程 ALD材料	完工 2024年4月 営業運転開始予定

当社株式が「日経半導体株指数」の構成銘柄に選定

東証上場、日経 NEEDS 「半導体関連業種」企業のうち、
時価総額が大きい **30** 銘柄

当該指数の算出・公表

2024年3月25日開始

新製品開発 | 次世代二次電池用活物質「SPAN」(エスパン)

実証評価

SPANの充放電を当社独自テストセルで評価

世界最軽量セルの実証に成功

重量エネルギー密度が
現行LiBの

約**3倍**

現行LiBの

約**1/3**の重量

SPANを用いたリチウム-硫黄二次電池で
ドローンフライトに成功



実用化

背景 | ドローンや電動航空機などで軽い電池が注目

軽い電池が必要な

“航空分野”での実用化を目指す



さらに...

「軽さ」で二次電池の可能性を広げる

災害時非常電池
ポータブル化



次世代EV
航続距離の延伸



通信基地局 (HAPS*等)
設置形態/場所の拡張

基地局
(地上)



*HAPS (High Altitude Platform Station) : 成層圏から広域な無線通信サービスを提供するシステム

素材メーカーのADEKAが新しいプラットフォームを創造し、
「豊か」で「便利」かつ「持続可能」な社会の実現に貢献する

トピックス | 鹿島工場と連結子会社の再編

鹿島工場

「鹿島化学品工場」と「鹿島食品工場」に再編

化学品と食品、両事業の責任と権限を明確に区分
事業改革を推進

化学品

半導体材料の旗艦工場として拡大

- ・生産技術開発を一層強化
- ・海外生産の支援体制強化

食品

技術的なアプローチで収益構造改革を推進

- ・高付加価値品の増産
(マーベラス、デリプランツ等)
- ・自動化、プロセス改善

- ・カーボンニュートラル
- ・収益力強化
- ・人財育成

連結子会社

食品子会社3社を合併

国内販売体制の集約が完了

意思決定の迅速化
業務・拠点の集約
(合理化・効率化)

- ・お客様へのサービス向上
- ・国内の収益基盤を強靱化
- ・食品事業の海外展開加速

<2024年4月1日予定>

存続会社
(社名)

ADEKA食品販売(株)

関東中心

油脂・乳製品

業務用食品・資材

消滅会社

(株)クラウン

関西

業務用資材

(株)ヨンゴー

中京

業務用資材

3. ご参考

ご参考 | 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

	2021年度 実績 (中計 初年度)	2022年度 実績 (中計 2年目)	2023年度 予想 (中計 最終年度)	2023年度 目標 (中計 最終年度)
営業利益	340億円	323億円	345億円	420億円
R O E	9.9%	6.6%	8.0%	9%
設備投資額	146億円/年	204億円/年	155億円/年	500億円/3カ年
			505億円/3カ年	
配当性向	30.5%	42.9%	39.1%	30%以上維持
年間配当予想	70円/1株	70円/1株	80円/1株	

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

新中期経営計画の発表スケジュール

□ 2024年

4月1日(月) ※予定

新中期経営計画の発表

5月14日(火) ※予定

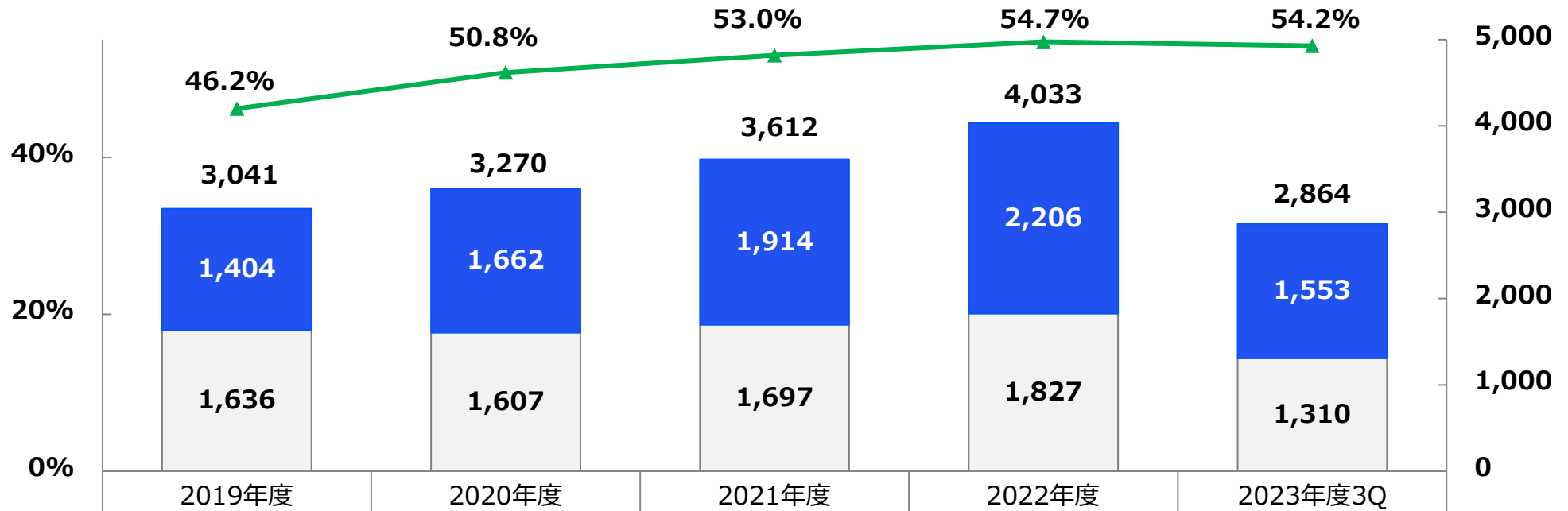
2024年3月期 決算発表

5月30日(木) ※予定

2024年3月期 決算および新中期経営計画説明会

海外売上高

(単位：億円)



■ 海外売上高	1,404	1,662	1,914	2,206	1,553
■ 国内売上高	1,636	1,607	1,697	1,827	1,310
▲ 海外売上高比率	46.2%	50.8%	53.0%	54.7%	54.2%
売上高	3,041	3,270	3,612	4,033	2,864

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

The logo for ADEKA features a stylized letter 'A' on the left, composed of a red upper half and a blue lower half. To the right of the 'A', the word 'DEKA' is written in a bold, red, italicized sans-serif font. The entire logo is centered horizontally.

ADEKA

Add Goodness



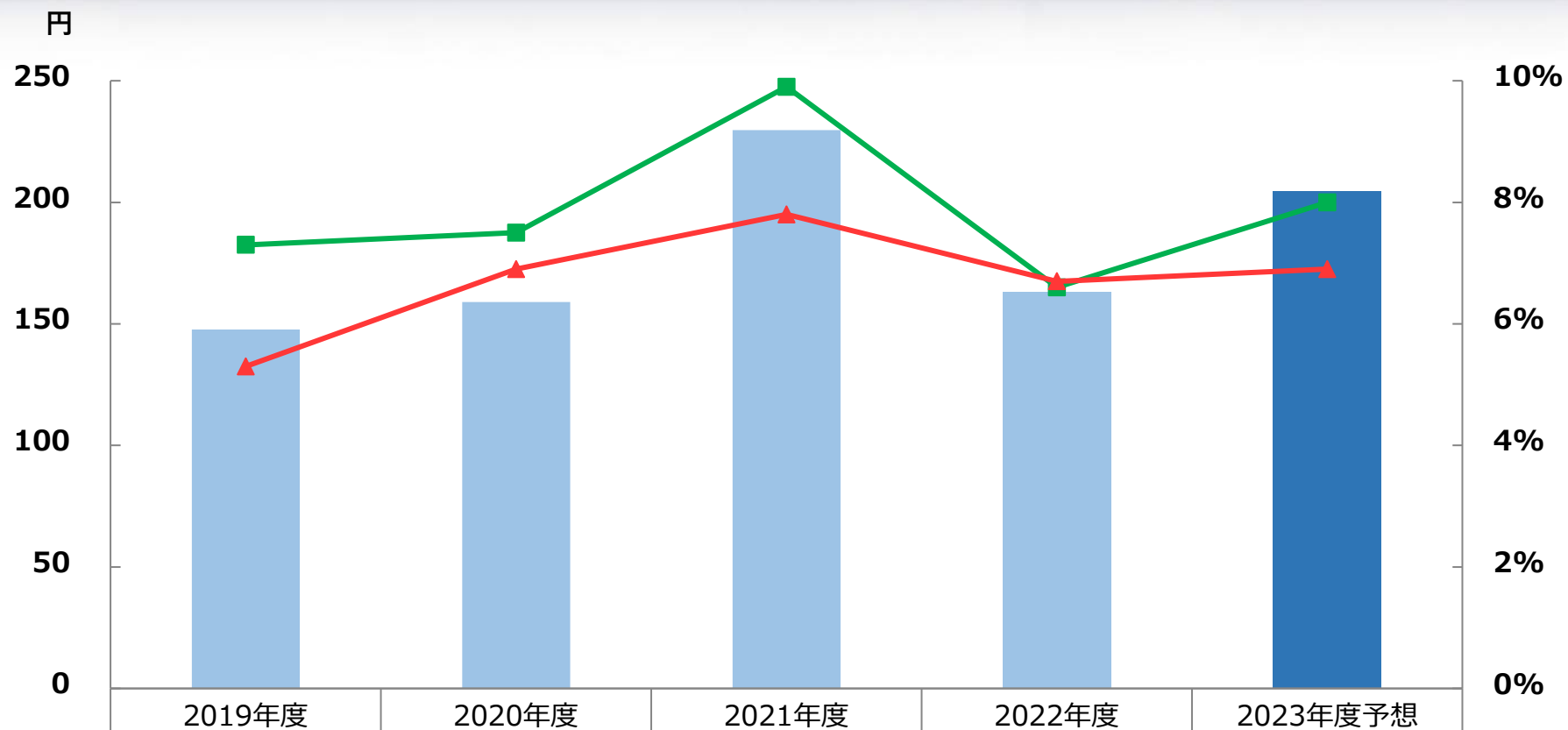
2023年度 第3四半期 決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

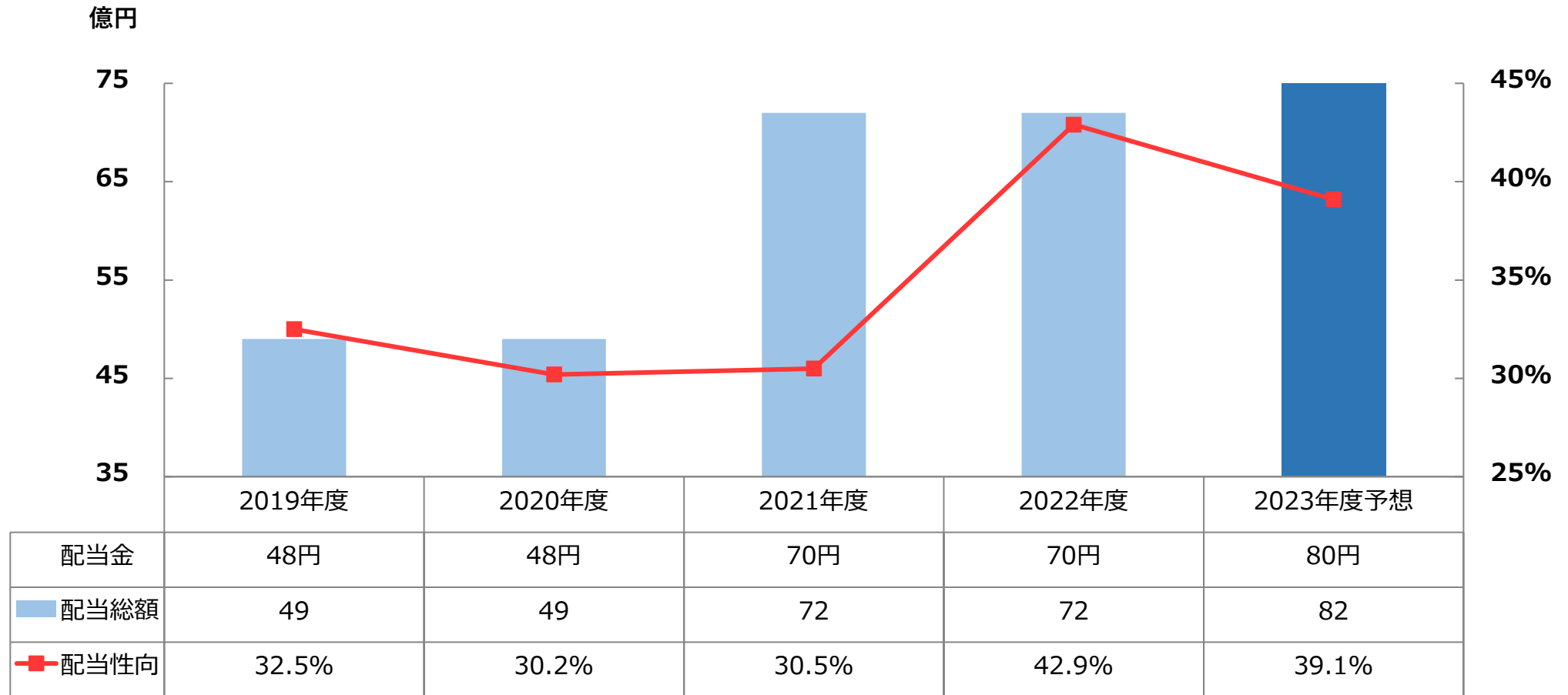
1. 連結貸借対照表

(単位：億円)	23/3末	23/12末	増減		23/3末	23/12末	増減
流動資産	3,154	3,222	68	負債	1,883	1,895	12
現金及び預金	811	812	1	流動負債	1,294	1,385	90
受取手形及び売掛金等	996	987	△ 8	固定負債	588	510	△ 78
棚卸資産	1,167	1,251	83	純資産	3,117	3,248	131
その他	179	171	△ 7	株主資本	2,387	2,464	77
固定資産	1,846	1,921	74	資本金	230	230	0
有形固定資産	1,194	1,240	45	資本剰余金	201	201	0
無形固定資産	180	172	△ 7	利益剰余金	1,978	2,066	87
投資その他の資産	471	508	37	自己株式	△ 23	△ 33	△ 10
				その他の包括利益累計額	222	272	49
				非支配株主持分	507	511	3
資産合計	5,000	5,144	143		5,000	5,144	143

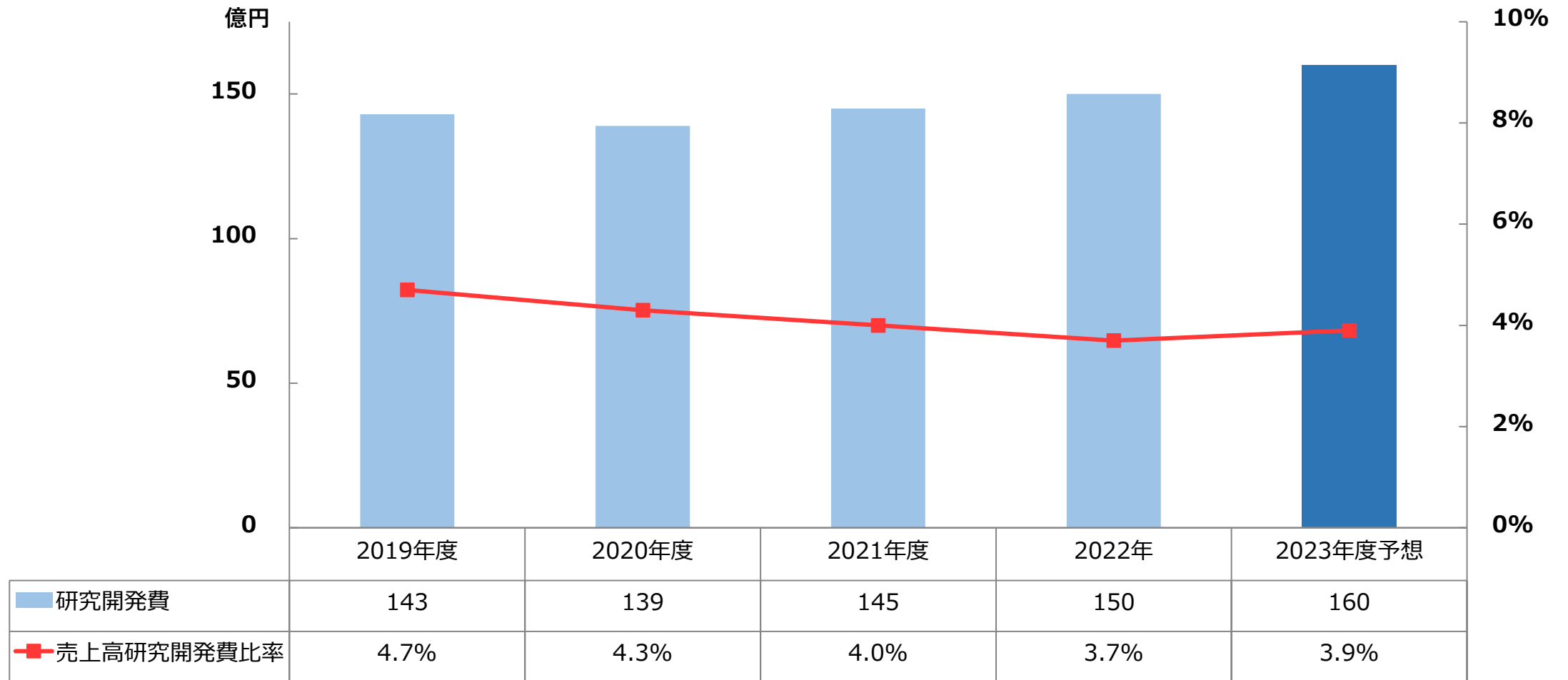
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



注) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

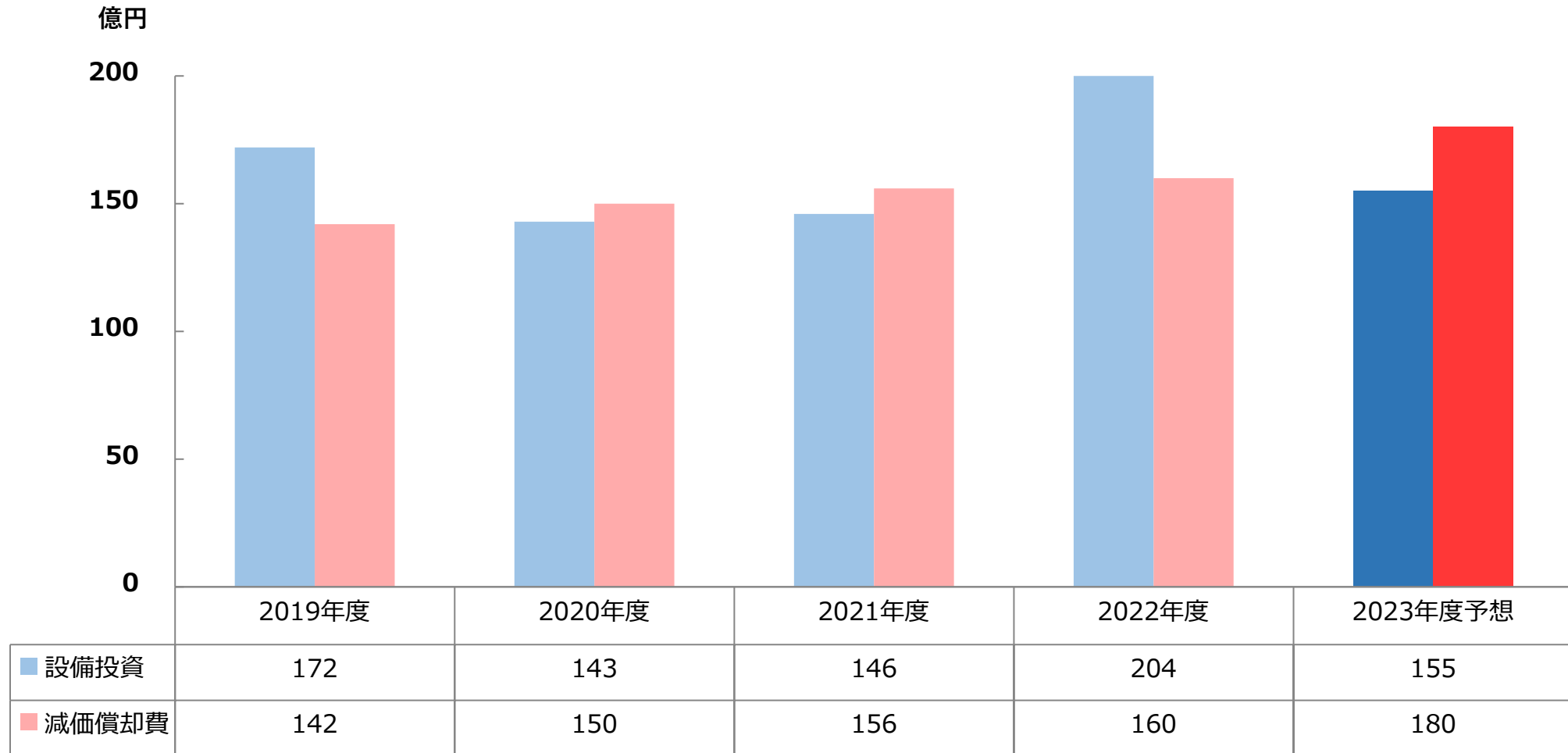


注1) 配当総額は億円未満を切り捨てて表示 注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注1) 研究開発費は億円未満を切り捨てて表示

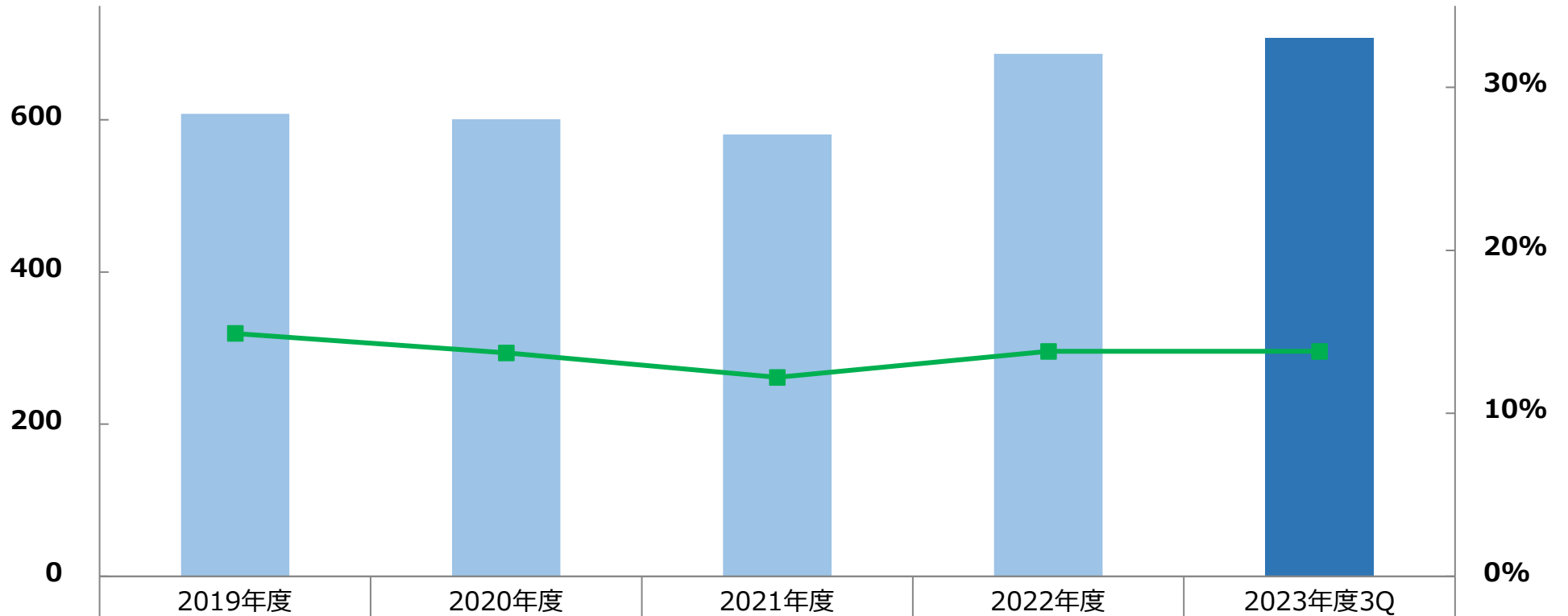
注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債

億円



有利子負債	608	601	581	687	708
有利子負債依存度	14.9%	13.7%	12.2%	13.8%	13.8%

注) 有利子負債は億円未満を切り捨てて表示

3. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。